

■ポルトガル・フランス：EDPとEngieが洋上風力の共同事業会社設立に合意

エネルギー情報誌は2020年1月24日、ポルトガルのEDPとフランスのEngieが洋上風力発電事業で共同事業会社を設立することで合意したと報じた。両社の共同事業会社設立については2019年5月に発表され、具体的な条件が交渉されてきており、今回合意に達したものの。今後、規制当局の承認が得られ次第、2020年3月までに設立される見込みで、出資比率は50：50である。両社は洋上風力発電市場において規模の大型化が今後の発展に最も重要な要素と判断し、世界で5番目以内に入ることを目標に共同事業会社の設立に踏み切った。両社で建設中の洋上風力発電事業は150万kW、開発中の案件は370万kWで、この中にはポルトガル沖の浮体式実証事業も含まれている。